

Title	消費者の購売行動特性に基づく小売戦略研究
Sub Title	
Author	吉本徹(Yoshimoto, Tooru) 関口操
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1980
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0114">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001980-0114</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名	吉 本 徹	主査	関 口 操	教授
	(ジャスコ株式会社)	副査	片 岡 一 郎	教授
所属ゼミナール	和 田 充 夫 研		嶋 口 充 輝	助教授
			和 田 充 夫	助教授

## 消費者の購買行動特性に基づく小売戦略研究

本研究は、消費者欲求を充足しうる小売業態とは何かという疑問に応えるべくその基礎をバックリンの言う商品動機と愛顧動機に基づく消費者の購買行動特性に求めた。

バックリンは、商品動機の3分類(最寄品・買回り品・専門品)と愛顧動機の3分類(最寄店・買回り店・専門店)を組み合わせることによって消費者の購買行動特性を9つに分類している。

本研究は、この9つの分類を基にして、栃木県佐野市において消費者購買実態調査を実施し、佐野市における消費者の購買行動特性分布を得た。また、同調査によって既存の小売店舗の購買行動特性別の顧客分布を得ることができ、主としてこの2つの分布を発展、相互に検討することによって、次の結論を導くことができた。

1つは、店舗規模のまったく異なるジャスコと藤五ストアが消費者の目でみればまったく同一の小売業態として認識されており、それは同一の顧客分布を持つという事実から明らかであり、その他の既存小売店舗の分析からも、消費者の購買行動特性は小売業態を論ずる時の重要な軸となるものであることが実証された。

また、本研究では以上の分析結果から佐野市における新業態参入の可能性として、衣料拡大型食品スーパーおよび専門店集積型ショッピング・センターの2業態を提案し、これらの新業態の具体的なマーケティング戦略を検討すると同時に、既存のジャスコ佐野店に対する戦略提案を示している。